

大鰐町中央児童館だより

(令和3年8月27日発行)

中央児童館 (福祉センター内) 48-5656 (担当 大越・小笠原)



たくさんの「夏」の思い出

暑い日が続いたのも束の間、稲穂もだんだんと色づき、秋の気配が感じられるようになりました。

夏休み中は、児童館内が、子ども達の元気いっぱいの声や活気であふれ、毎日賑やかに過ごすことができました。友だちや仲間と、いろいろなあそびや活動を楽しんだ夏休み、思い出のひとつに残るといいなあ。

『まち探検』

「大鰐元気隊」の皆さんのご協力をいただき、町の中を散策しながら、名所や魅力などを発見することができました。



大円寺の中の、立派なふすま絵も見学させていただきました。

『児童館まつり』

コロナウイルス感染症対策に配慮し、規模を縮小して行いました。母親クラブや中学生ボランティアの皆さんにもお手伝いをいただき、スマートボールや光る金魚すくい、射的や駄菓子屋など、まつりの雰囲気を楽しみながら、好きなコーナーで思い切り楽しんでいました。



『すいか割り』
ビーチボールのすいかを使ってすいか割りを楽しみました。



青空の下で食べるすいかの味は格別だったようで、おかわりをする子がたくさんいました。



『アイスを作ろう』
塩と氷の凝固冷却作用を利用して作りました。温度の急低下に興味津々でした。



『スライム作り』
液体洗剤と洗濯のりを使って作り、感触を十分に楽しみました。



『じゃが芋掘り』

児童館で5月に植え付けたじゃが芋を収穫しました。次々と見つかるじゃが芋を面白がって掘り出し、素晴らしい働きで、あっという間に終わることができました。掘った芋は、お家に持ち帰りましたが、残りはチャレンジクッキングで味わう予定です。



『金魚ねぶた作り』

今年もいろいろな制限がありましたが、気分だけでも楽しめるように金魚ねぶたを作って、センター内に飾り付けました。館長も子ども達を喜ばせようと「アマビエ金魚」を制作！それを見た子ども達は、「かわいい〜♡」「きれいな色だね!」「縁起がいい感じ!!」などと話していました。

コロナ退散!!

『おばけやしきで遊んでみた』

高学年が中心となって「おばけやしき」を手作りし、受付から案内、おばけ役まで協力して行ってくれました。

ワクワクして入った1年生でしたが、あまりのクオリティー!?の高さに、泣き出す子もいました。それを見た高学年の子が優しくなだめてくれるなど、ほほ笑ましい様子も見られていました。



館長さんのつぶやき

夏休みに入り、オリンピックで盛り上がる中、児童館は祭りを開催した。いつもは大人も気合を入れてボランティアをした祭りである。しかし、去年は直前に取り止め子ども達をすごく落胆させてしまった。何度も後悔をしたのを思い出す。今年は、そうした残念なことのないよう三密に気を配りしたつもりだが、子ども達は意外と楽しめたと思う。

そうした中、児童館で楽しんだことのある中学生が、「先生手伝うよ。」と児童館職員を助けてくれる。児童館の祭りのボランティアを楽しんでいる。

少なくなった子ども達同士で、上の子が下の子の面倒をみてくれるということがうれしい。ぜひ、助け合う心をもつ優しい大人になってほしい。

『ボランティアを楽しむ』

母親クラブより

9/9(木) 定例会 10:30~
9/30(木) 手芸クラブ 9:30~

行事参加申込書

9/22(水) 『フライドポテトを食べよう』(参加費無料)

学年 氏名

緊急連絡先

アレルギーのある方は記入してください。



9月チャレンジクラブ

9/1(水) いやしのボトルを作ろう
9/8(水) むりえコンテスト
9/15(水) 不思議なたまごを作ろう
9/22(水) 収穫したじゃが芋で
フライドポテトを食べよう
9/29(水) なわとびチャレンジ